



加藤 克之 議員
無会派

問 県道開通の安全対策

答 危険箇所点検で対策を図る

問 道路整備に伴う開通予定は。

答 開発部長 29年3月末の供用開始に向け、県に働きかけている。

問 鍋平・大山各地区への周知は、説明会や連絡または報告をいつ頃に行うのか。

答 開発部長 開通日の決定時点で、回覧・案内看板で周知する。

問 通学路安全対策は。

答 開発部長 「通学路安全プログラム」に基づき、危険対策箇所に応じ、改善・充実を図っていく。

問 地域周辺開通に伴う交通安全対策の考えは。

答 開発部長 平島・六條・鍋平地区間に1箇所ずつ、押しボタン式歩行者用信号を要望中。南北路線は順次、縁石^{えんせき}、視線誘導標を設置していく。

問 平島地区の交通量と大型車両への対策は。

答 開発部長 ひので保育所前の横断歩道部に道路照明灯を設置する。今後、速度規制などの対策に取り組んでいく。



▲29年3月末供用開始を目指す県道104号線新政成弥富線道路整備の状況（H29.1.6現在）

問 子ども達の活躍の場拡大へ！

答 次世代担う
青少年の育成推進！

問 未来を担う子ども達は、なぎなた・マリンバ演奏・北中ダンスをはじめ、全国に優秀な成績を重ねている。10周年を機にスポーツや文化・芸術の活躍の場をさらに拡大すべきと考えるが。

答 教育部長 「青少年健全育成大会」や市のイベントなどで学校活動及び全国大会出場の空手・なぎなた選手の演技披露の場を提供している。

今後、健全育成の場の提供、人材育成、非行防止活動、自立支援など家庭・学校・地域・行政が一体化した取り組みを推進していく。